

# 総務財政委員会報告書

日時	令和7年10月23日（木） 10：30～11：15	
場所	倶知安商工会議所 役員室	
出席者	委員	石本 要 委員長、大門 芳樹 委員、佐藤 伸治 委員
	役員	宮崎専務理事
	職員	竹内総務課長、多田会計係
概況	令和7年度会員拡大強化運動の実施について意見交換を行った	
内容	<p><b>〔協議事項〕</b></p> <p>1) 会員拡大強化月間の実施について 事務局より別紙資料に基づき会員拡大強化月間の実施要領案について説明後、内容について意見交換を行った。</p> <p><b>&lt;強化月間の期間&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ひらふエリアが通常営業している時期が好ましい。</li><li>・1～2月であれば、各事業所の転勤時期からずれる。</li><li>・3月の確定申告期間が終了するまでは期間を延ばすことも可能。</li></ul> <p><b>&lt;目標数値&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会員数600件、口数1,000口が目標だが、現実的な目標数値だと20件。</li></ul> <p><b>&lt;報奨&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・高額なものや、現金は問題があるため、2,000円の商品券が妥当。</li></ul> <p><b>&lt;対象者&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・役員議員だけでなく会員全員が行うことで、勧誘する人の理解度も深まる。</li></ul> <p><b>&lt;入会に関して&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・開業6か月の縛りはなくなったが、見境なく入会させてしまうと反社の入会や問題を起こされるなどのリスクもある。</li><li>・観光協会の会員を情報共有してもらう手もある。</li></ul> <p><b>&lt;全体を通して&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会員であることが地域社会での「信頼と信用の証」としてステータスになる。</li><li>・最低でも3年はこの運動を続ける意気込みでやっていきたい。</li></ul> <p><b>【決定事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・強化月間の期間は1月1日から2月28日まで</li><li>・目標数値は20社以上</li><li>・3月中に2,000円の商品券を紹介者へ贈呈</li><li>・報奨対象は全会員とする</li><li>・会員拡大運動における入会希望者は総務財政委員会で確認後、報奨を贈呈</li></ul>	

# 総務財政委員会報告書

日時	令和7年12月26日（金） 10：00～10：55	
場所	倶知安町中小企業センター ホール	
出席者	委員	阿部 和久 委員長、木村 聖子 副委員長、石橋 拓哉 委員、大門 芳樹 委員、荒川 祥子 委員、佐藤 伸治 委員、石田 恭太 委員、渡邊 恵介 委員
	役員	吉田副会頭、柳澤専務理事
	職員	竹内総務課長、多田会計係
概況	令和7年度委員会事業の進捗状況について報告後、令和8年度委員会事業の概略について意見交換を行った。	
内容	<p><b>1) 令和7年度委員会事業の進捗状況について</b>  事務局より別紙資料に基づき今年度事業の進捗状況について報告を行った。</p> <p><b>&lt;事務局より報告&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和7年度事業計画実施項目の10番が総務財政委員会の所管となっている</li> <li>・ (2)はゴルフコンペ及び新年交礼会を継続して実施</li> <li>・ (3)及び(5)は事務局対応により都度実施</li> <li>・ (4)及び(6)は今年度まだ取り組んでいない</li> <li>・ (1)は10月開催の委員会で承認いただいた『会員拡大強化運動』を年明け1月から2月の2か月間実施することで全会員へ周知を行った</li> </ul> <p><b>&lt;質問・意見&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員数は去年比でどうなっているのか → ほぼ横ばいの状況</li> <li>・ 会員を増やすには、街なかの事業所だけを対象にしては限界があるので、スキー場エリアの外資系企業を取り込む方が効果的である。そのためには職員の英語力やITスキルの向上など体制強化も重要。</li> <li>・ 新年度事業にも関わるが、拡大運動を実施すること自体も重要である一方、その結果を検証し、改善につなげていくことも欠かせない。委員会として動きすぎてしまうと、実際に配布した取り組みの効果がどの程度あったのか把握しづらくなるため、ある程度様子を見ながら検証する姿勢が必要だと考える。</li> <li>・ 多くの外資系企業が進出していることから、そうした企業の方々に会議所へ加入してもらうことで、地域への理解を深めてもらう良い機会になる。また、街と山との距離感が縮まり、双方のつながりがより良くなる可能性もある。</li> <li>・ 事務局の不手際により、近年は会員証の配布が行われていなかった。しかし、会員証は会員であることを示す信頼・信用に繋がる重要なものである。新年度は調査を行い、これまで配布できていなかった会員や紛失した会員に対して、改めて会員証を配布したい。</li> </ul>	

## 2) 令和8年度委員会事業について

### <会員親睦・交流事業>

- ・新年交礼会ではこれまで鏡開きを実施していないため、新年度事業として予算化し、鏡開きを行いたいと考えている。また、委員会としては受付なども含め協力する体制を整えていきたい。
- ・会員交流事業について、かつて行っていた名刺交換会のように、堅苦しくない気軽に集まれる場として開催するのも良いのではないかと考える。会員が非会員を誘って参加してもらうことで、交流の機会を広げるとともに、会員増強にもつながる。
- ・現在の交礼会は、交流の場というよりも従業員表彰が中心となっており、その分敷居が高く参加しづらい面もある。他の会議所では交礼会と従業員表彰を分けて実施している例もあるため、検討する余地はある。

### <IT活用による情報発信>

- ・新年度から会議所公式のLINE開設を予定している。これにより情報の速達性が高まり、HPやメーリングもあわせて情報発信力の強化が期待できる。立ち上げや日々の情報発信は事務局が中心となっていくが、委員会にも情報の選択など何らかの形で協力をお願いしたい。
- ・今はChatGPTの普及により、様々な作業を短時間で行うことができる。パンフレットの英語版などもすぐに作成できるため、積極的に活用すべきである。

### <会員増強>

- ・新年交礼会で、会員増強運動の案内をチラシ形式にまとめたものを配布したいと考えている。
- ・会員増強には、会員メリットをいかに分かりやすく伝えられるかが重要である。そのためのツールとしてパンフレット（英語版を含む）があると有効である。
- ・外資系企業の会員を増やすこと自体は良いが、実態がほとんど無い企業や、冬季のみ人が滞在する企業も存在するため、声をかける相手にも注意が必要。誰でも良いと無差別に勧誘すると、後々対応に苦勞する可能性がある。既に入会しているスキー場エリアの会員とも連携しながら、信頼できる企業を見極めて声かけを行う方が望ましい。

### <働きやすい職場環境整備>

- ・人手不足が深刻化する中、外国人材やシニア世代の活用に向けて必要な情報を発信していくような取り組みを検討している。
- ・特に外国人の雇用については、手続きやビザの要件など、法律面も含めて知りたいという声が上がっている。
- ・会員がどの程度その取り組みを望んでいるのか、アンケートなどによる情報整理が必要である。
- ・外国人を雇用する場合、申請から許可が下りるまで4か月程度かかる。さらに、雇用に必要な書類作成にも相応の時間を要するため、最低でも半年程度の準備期間を見込む必要がある。したがって、冬季の雇用を予定している場合でも、春の段階で始めなければ間に合わない。
- ・観光協会やNPBとも連携しながら、協議を進めていきたい。